

## 2018 年度3月 神戸森林植物園 観察下見会報告

日 時	2018年3月3日(土) 9:30~13:00		記録者: 熊谷信哉
探 鳥 地	神戸市北区 神戸森林植物園 展示館前~萩の小径~薬樹園~展示館前~プリスペーンの森方面		
参 加 人 数	在校生9名	顧問 1名 前相談役 1名	総計 11名 天候: 晴れ
観 察 概 要	<p style="text-align: center;"><b>晴天に恵まれ野鳥もウキウキ アカゲラとアオゲラの“共演”も</b></p> <p>24期世話人による初めての下見会を3月3日(土)に行った。案内役がコースや、期待できる野鳥など必要な情報を頭に入れている場合は別にして、下見会は永年、先輩方から受け継がれてきた当クラブの伝統行事。双眼鏡、カメラ、図鑑などを手に神戸森林植物園に繰り出した。</p> <p>クラブの活動を温かく見守ってくれている堀池顧問と平林・前相談役も駆けつけてくださった。今回の主な狙いはトラツグミとベニマシコだった。彼らをスマホなどに収めた“戦果”を見せ合いながら園内を散策するうち、思わぬ収穫があった。なんと朽木を好むアカゲラと生木に留まるアオゲラの珍しいツーショット。脇目もふらず、樹の幹を懸命につついていて。どちらも体の一部が鮮やかな赤色。フィールドスコープを通じて存分に楽しませてもらった。気が付いてみると、ここだけで30分も滞在していた。探鳥会が観鳥会に変わって全員、大満足だった。</p> <p>季節を変え、何回も足を運んでおられる先輩方の話は深みと幅があり、鳥の習性から好みの木の実にまで及んだ。これも観測会の楽しみの一つ。われわれ1年生だけでは見落としてしまいそうな森林植物園ならではのポイントもいろいろ教えていただいた。野鳥への親しみが一段と増したうれしい一日だった。</p> <p><b>【下見会で観察できた鳥】</b> アオゲラ、アオジ、アカゲラ、アトリ、エナガ、カワラヒワ、コゲラ、シジュウカラ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、トビ、ヒヨドリ、ホオジロ、ミヤマホオジロ、メジロ、ヤマガラ、カワラバトの18種(探鳥確認メモ 秋~冬バージョン)。</p>		
感 想	ひな祭りにふさわしく抜けるような青空で、船出の気分は上々。本格的な春の訪れを予感させる気候の中で、野鳥もウキウキ。多数が姿を見せてくれた。		
次 回 予 定	3月10日(土) 神戸森林植物園(3月定期観測会) 午前9時半、展示館前集合・詳細は公表済み		



走るツグミ=西山博昭さん撮影



姿を見せたジョウビタキ♀(左)とシロハラ=いずれも会員・西山博昭さん撮影

まだ冬が…。福寿草の美しい花